

## 令和5年度第6回 旭川市上下水道事業審議会会議録

日時	令和5年12月19日（火）午後6時04分～午後6時41分
場所	旭川市上常盤町1丁目 旭川市水道局庁舎4階 第2会議室
出席者	<p>○旭川市上下水道事業審議会委員（定数13人） ※五十音順  出席 10人（藍原委員，岩館委員，後藤委員，杉村委員，堂垣内委員，富田委員，成田委員，橋本委員，山田委員，吉田委員）  欠席 3人（柏葉委員，田畑委員，中村委員）</p> <p>○水道局 15人  佐藤水道事業管理者，沖本部長，高橋次長，松田次長，伊藤課長，稲場課長，田中課長，山田課長，原課長，黒川所長（経営企画課）平野補佐，杉山主査，渡部主任（総務課）大口補佐，石山主査</p>
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者	1人（報道機関 1人）
会議内容	<p>1 開会  2 議事  （1）報告事項  ア. 「水道料金・下水道使用料の減免制度見直し案」に対する意見提出手続きの主な意見について  イ. 後期財政計画の策定にかかわる意見提出手続きの主な意見について  （2）協議事項  ア. 水道事業・下水道事業後期財政計画（令和6～9年度）の策定について（答申案）  （3）その他  3 閉会</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 「水道料金・下水道使用料の減免制度見直し案」に対して寄せられた御意見と旭川市水道局の考え方</li> <li>・資料2 「水道事業・下水道事業後期財政計画（素案）」にお寄せいただいた御意見等と旭川市水道局の考え方</li> <li>・資料3 答申書（たたき台）</li> </ul>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
1 開会	事務局	定刻を過ぎましたので、ただいまから、令和5年度第6回上下水道事業審議会を開会いたします。
(出欠報告)	事務局	委員13名中現時点で7名が出席となっておりますので、審議会規程第5条第2項に基づき、本会議は成立することを報告します。
2 議事 (1) 報告事項 ア. 「水道料金・下水道使用料の減免制度見直し案」に対する意見提出手続きの主な意見について	会長	これより議事に入ります。 (1) 報告事項 ア. 「水道料金・下水道使用料の減免制度見直し案」に対する意見提出手続きの主な意見について事務局より報告願います。
	事務局	(資料1に基づき報告)
	会長	ただいま事務局より報告がありましたが、御意見・御質問はございませんか。
	各委員	(なし)
	会長	報告事項 ア. 「水道料金・下水道使用料の減免制度見直し案」に対する意見提出手続きの主な意見については、終了いたします。
イ. 後期財政計画の策定にかかわる意見提出手続きの主な意見について	会長	イ. 後期財政計画の策定にかかわる意見提出手続きの主な意見について事務局より報告願います。
	事務局	(資料2に基づき報告)
	会長	ただいま事務局より報告がありましたが、御意見・御質問はございませんか。
	各委員	(なし)
	会長	報告事項 イ. 後期財政計画の策定にかかわる意見提出手続きの主な意見については、終了いたします。

議事内容等	発言者	発言の要旨等
<p>(2) 協議事項 ア. 水道事業・下水道事業後期財政計画(令和6～9年度)の策定について(答申案)</p>	<p>会長</p>	<p>それでは、協議事項に入ります。</p> <p>これまで5回にわたりまして審議を重ねてまいりましたが、後期財政計画の策定作業は、大詰めというところがございます。</p> <p>水道局からの諮問に対して、今度は、私たちの考えを答申の形にまとめていく段階にあると思います。</p> <p>資料3をご覧ください。前回の審議会でもお話しをしましたが、私の指示のもと、事務局に作業していただき、答申案の作成をしていただいております。</p> <p>1枚目は答申文、2・3枚目は答申書本体という構成にしておりますが、私たち審議会としての考えを答申書本体に盛り込んでいくこととなります。</p> <p>たたき台には、審議会に提示のあった後期財政計画の考え方が妥当かどうかという視点で、整理しております。</p> <p>一つ目は、「後期財政計画の策定と今後の事業の取組に対する意見」で、答申書本体の1ページ。</p> <p>私たちの生活になくってはならない水道と下水道ですが、今後、人口減少に伴う水に対する需要が減少していく中で、施設の老朽化に立ち向かっていかなければならない難局に直面しており、そうした状況下で、将来にわたって事業を維持できるよう、中長期的な見通しを持った計画かどうかという視点で見ていただきたいということです。</p> <p>後期財政計画は、令和6年度から9年度までの4か年の計画ですが、併せて令和10年度から17年度までの長期推計を掲載し、人口推計に基づく収益等の長期的な見通しを検討しているほか、老朽化する施設への対応方針も計画に描いており、この点に関しては、妥当と考えますけれども、皆さん、いかがでしょうか。</p> <p>ちなみに、前回の会議の中で、委員から、計画の策定後、計画に捕らわれ過ぎずに、状況の変化にも対応できるよう、柔軟な姿勢で事業経営に当たってほしいという内容の御発言がありました。そういった内容を1ページの1番下のところになお書として反映してみましたので、これについても併せてご意見いただきたいと思います。</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
		<p>ここまでのところで御意見ありますでしょうか。 今まで議論してきた内容とそこはないでしょうか。</p>
	委員	<p>詳しく、どこからどこまで述べたかということは鮮明には覚えてはいなかったですが、会長がおっしゃったとおり、盛り込まれている部分とこれから人口減少の部分も必ずしも推計どおりではない場合も考えられますので、そういったときも柔軟に対応するということが文章から読み取れますので、そういった面も私はいいかなと思います。</p>
	会長	<p>物価の動向もはっきりわかりませんし、人口減少も果たしてそのまま進んでいくのかも、推計では出ていますが、はっきりわからないわけですね。 計画を立てていて拘束されるよりも、柔軟に対応していただきたいという委員の意見、大変妥当なものだと思います。 ほかの委員のみなさんよろしいでしょうか。</p>
	各委員	(了解)
	会長	<p>それでは、1ページ目修正がないということで進めさせていただきます 続きまして2ページと3ページをごらんください。 まず、この2番目の「後期財政計画の内容に対する意見」です。 ここでは、「(1) 事業の取組方針と目標の設定」「(2) 収支計画における推計の考え方」の2つに分類して整理しています。 まずは、2ページの「(1) 事業の取組方針と目標の設定」についてでございます。 水道・下水道は、将来へと受け継がれていく必要があり、事業の持続可能性が非常に強く求められています。 「①事業の取組方針」は、後期財政計画の39ページから42ページにかけて整理されていますが、「旭川市水道・下水道ビジョン」で設定した取組方針を継続しつつも、施設の老朽化や新技術の導入など、状況の変化や新たな課題に対しても、取り組んでいこうとする姿勢が見受けられます。 また、「②目標の設定」としましては、新たに経営の健全性を測る3つの経営指標を新たな目標として掲げ、経営診断を行いながら、事業経営に当たっていこうとしております。</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
		<p>これらは持続可能性を確保していく上で大変重要なことであり、ここに書かれている内容としては妥当ではないかと考えますが、委員の皆様方の御意見を頂戴したいと考えます。</p> <p>ここまできかがでしょうか。</p> <p>事業の取組方針と目標の設定のところでございますが、委員の皆様がた、何か御意見ありますでしょうか。</p>
	委員	<p>前回の資料の後期財政計画の 42 ページがこの後半にある新たな課題や将来に向けての取組ということで、DXの活用、官民連携の取組、老朽化する水道局庁舎のあり方、これが①の下から4行目の『加えて、下水汚泥のさらなる活用など新たな課題』のことかと思えます。ある意味、その2つだけというよりは、こちらではもっと多くのことを取組んでいくという姿勢を出しているのかなと思うのですが。こちらの方は2つだけでよろしいのでしょうか。</p>
	会長	<p>もう少し挙げましようかね。新たな取り組みとして掲げているものとして。</p>
	委員	<p>P F I 等をもっと積極的に取り入れていくのであれば、この取組方針の中に入れてもいいのではないのでしょうか。</p>
	会長	<p>『加えて』のところの『下水汚泥の更なる有効活用やDX技術の活用』と並べて入れるということによろしいですか</p>
	委員	<p>そういった取組をその中に入れていく。</p>
	会長	<p>ほかの委員の方々いかがでしょうか。</p> <p>2ページの①の事業の取組方針の下から4行のことにについて、『加えて…』の後ですね。後期財政計画に書かれている具体的な内容を示した方がよいという御意見でございますけどいかがでしょうか。</p> <p>取組の姿勢がはっきりわかっていいということでございますね。入れるということを進めたいと思えますけれども、いかがでしょうか、よろしいでしょうか。</p> <p>後期財政計画の 42 ページに書かれている新たな課題や将来に向けた取組については『DX技術の活用など』と書かれていますけれど、『など』の前に追加で列挙させていただくということで修正をさせていただきたいと思えます。</p> <p>委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>ほかに御意見ございますか。</p>
	各委員	<p>(なし)</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	会長	<p>それでは、この事業の取組方針と目標の設定については確認していただいたところを付け加えさせていただくということで進めさせていただきます。</p> <p>次に、3ページの「(2) 収支計画における推計の考え方」についてでございます。</p> <p>収支計画を考える上で、事業の根幹である料金収入については、人口減少等を踏まえた長期的な展望で収益の補足を行っている一方で、支出については、先ほども言いました近年の物価上昇を的確に反映しており、シビアに見た収支だと言えるのではないかと思います。</p> <p>そうした中であっても、施設の老朽化に向けた対策経費を盛り込んでいるほか、広域化や官民連携の取組の継続を反映するなど、事業の持続可能性を追求した収支計画になっており、このことから収支計画における推計の考え方は妥当ではないかと考えますが、御意見いかがでしょうか。</p>
	各委員	(なし)
	会長	<p>「(2) 収支計画における推計の考え方」については、原案どおり進めさせていただきます。</p> <p>最後になりますが、3ページの1番下のところ、大きな3番。「経営の安定化に向けた意見」について議論をさせていただきたいと思います。</p> <p>上の(2)では、収支計画そのものの考え方を評価しましたが、ここでは、その後の財政運営の在り方としての意見になります。</p> <p>後期財政計画の期間である令和6年度から9年度の4年間については、水道・下水道とも、当年度純利益や運転資金の確保ができる見通しになっておりますので、この期間については、市民の料金負担の増加は避けることができます。したがってひとまずは安心できるのではないかと思います。</p> <p>その一方で、令和10年度以降、水道事業では当年度損益の赤字転落と、令和17年度には資金不足が予想されています。長期的には決して楽観視はできない状況下と思いますが、あくまでも現段階での推計となりますので、今後の事業展開や取り巻く状況の変化などでは、財政状況は変わる可能性があるものと考えられます。</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
		<p>また、下水道事業では、現状繰り入れていない繰出金を見込んでの計画となっており、このことについては一般会計と協議を要する状況であるとも伺っております。</p> <p>これらの点を踏まえ、今後も市民の負担を軽減する観点というところからは、経営の安定化に向けて2つの事項を水道局に要請する形で答申したいと考えました。</p> <p>一つは、不断の経営努力と事業全般の定期的な検証に努めること、もう一つは、総務省の繰出基準に該当する繰出金が繰り出されていないことについて、関係部局と連携することでございます。</p> <p>御意見いかがでしょうか。</p>
	各委員	(なし)
	会長	ここに書かれている内容で、今まで議論が進められておりまして、この議論に沿って単純明快にまとめさせていただいております。よろしいでしょうか。
	各委員	(了解)
	会長	<p>それでは、3番目の「経営の安定化に向けた意見」については修正がなく、このままで進めさせていただきます。</p> <p>答申案の文案が固まりましたので、後日答申を行うことで、委員の皆様から私に御一任をいただきましたのですがよろしいでしょうか。</p> <p>先ほどの修正のところも含めまして、よろしいでしょうか。</p>
	各委員	(了解)
	会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、そのような運びとさせていただきます。</p> <p>審議は以上となりますが、事務局から何かありますか。</p>
	事務局	答申につきましては、先ほど、皆様から会長に御一任いただきましたので、12月25日(月)に会長から当水道事業管理者に対しまして、答申を行っていただこうと考えております。
(3) その他	会長	その他の部分で事務局から何かありますか。
	事務局	最後に水道事業管理者より御挨拶を申し上げたいと思います。
	水道事業 管 理 者	(佐藤水道事業管理者より挨拶を行った。)
3 閉会	会長	それでは本日の会議はこれで終了といたします。